※ 応募用紙AはA4サイズにコピーしてご使用ください。

応募用紙−A　　第５０回なるほど展　出品申込書

↓太枠内は記入しないでください

審査結果	受付	出品No.
特賞（　　）なるほど賞・佳作・考えました	月　日	

※　ご注意：過去に他の展示会、コンクール等に出品した作品は応募できません。

※　大切なご連絡を取らせて頂く可能性がございますのでなるべく全てご記入下さい。

出品者	ふりがな	年齢	職業	✔を入れる
	氏名	歳代		❑ 一般　❑ 男 ❑ 会員↓　❑ 女 会員No.（　　）
	現住所　（〒　－　）			
	☎	FAX	携帯	
	Email（PC）	Email（携帯）		
ふりがな 作品名	※作品の内容がわかる名称（商品名は不可）			
共同考案者名				

出願の状況

出願準備中	❑ 出願予定　年　月頃		❑ 出願予定なし
出願番号	特許・実用・意匠	平成　年　号	出願日 平成　年　月　日
登録番号	特許・実用・意匠	平成　年　号	登録日 平成　年　月　日
あれば 特記事項等			

※　出品作品のアイデアを権利範囲とする登録（出願）についてのみ記載してください。

※　後日特許庁より出願番号などが通知された場合はFAX（０３−３８１２−９６７１）にてお知らせください。

出品料（必ず振込日をご記入下さい）

	一般	会員/学生
出品料	６，０００円	３，０００円
払込日	月　日	月　日

作品扱いなど

作品の大きさ		補足説明書D
縦　cm	横　cm	❑ 提出する
高さ　cm	重さ　g	❑ 提出しない

※ 応募用紙BはA4サイズにコピーしてご使用ください。

応募用紙−B　　**作品の説明− Ⅰ**　　＊　この用紙には出品者名は書かないで下さい

ふりがな 作品名	※作品名は統一して下さい	❑ 男 ❑ 女	＊太枠内には記入しないで下さい 出品No.

１．発明考案の目的
①何に使用するものか

②従来あるものとの相異比較

２．発明考案の構成及び効果
①　問題点を解決するための方法

②作用及び効果

※ 応募用紙CはA4サイズにコピーしてご使用ください。

応募用紙−C　　**作品の説明−Ⅱ**　　＊　この用紙には出品者名は書かないで下さい

ふりがな 作品名	※作品名は統一して下さい	❑ 男 ❑ 女	＊太枠内には記入しないで下さい 出品No.

3．図面（作品の略図を正確に描いて下さい）

展示用説明文
展示会場での作品説明に使用しますので、作品のポイントを枠内に入るよう簡潔に記入し、語尾は「…です。」「…ます。」にしてください。（少し直させて頂くこともあります）

×																			
																			×

※ 応募用紙DはA4サイズにコピーしてご使用ください。

応募用紙−D　補足説明書（提出は任意です）

＊　この用紙には出品者名は書かないで下さい

ふりがな 作品名	※作品名は統一して下さい	❑ 男 ❑ 女	＊太枠内には記入しないで下さい 出品No.

写真や図、文章を自由に組み合わせて作品のアイデアをわかりやすく説明してください（顔や名前が特定されるものは不可）

応募用紙−B　　**作品の説明− I**　　＊　この用紙には出品者名は書かないで下さい

ふりがな 作品名	※作品名は統一して下さい 電気洗濯機の糸屑除去具	❑ 男 ❑ 女	＊太枠内には記入しないで下さい 出品No.

1．発明考案の目的
①何に使用するものか

洗濯槽内の糸屑や綿ほこりを除去するものである。

②従来あるものとの相異比較

従来、洗濯槽内の側面に吸盤でゴミ取りネットを取り付けるものがあったが、洗濯時に、はずれてしまう欠点があった。

2．発明考案の構成及び効果
①　問題点を解決するための方法

(イ) 細かい網目からなる円錐状の網袋(1)の開口部に枠(2)を設ける。
(ロ) 枠(2)に主軸(3)を橋渡しし、中央部に空気袋を差し込む穴(4)を設ける。
(ハ) 空気を入れた袋(5)の下端部(6)を穴(4)に差し込む。

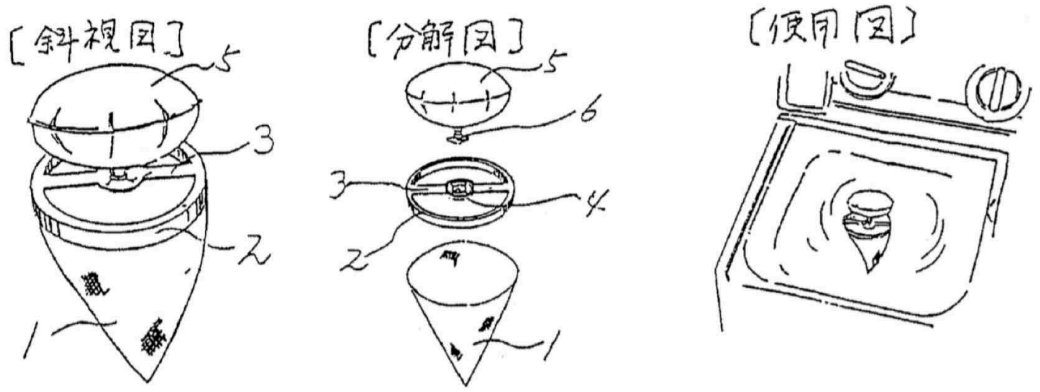
②作用及び効果

この除去具を洗濯槽の中に入れておくだけで、繊維屑等は水流によって網袋の中に捕集され、衣類等への付着を防ぐことができる。

応募用紙−C　　**作品の説明−Ⅱ**　　＊　この用紙には出品者名は書かないで下さい

ふりがな 作品名	※作品名は統一して下さい 電気洗濯機の糸屑除去具	❑ 男 ❑ 女	＊太枠内には記入しないで下さい 出品No.

3．図面（作品の略図を正確に描いて下さい）



展示用説明文
展示会場での作品説明に使用しますので、作品のポイントを枠内に入るよう簡潔に記入し、語尾は「…です。「…ます。」にしてください。（少し直させて頂くこともあります）

細かい円錐状の網袋の開口部を枠に挟み、枠の中央部の穴に、空気を入れた浮き袋の下端部を差し込みます。この糸屑除去具を洗濯槽に入れ洗濯すると、水流によって繊維屑が網袋の中にたまり、他の衣類への付着を防ぎます。